

(別記)

令和3年度尼崎市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

<現状(令和2年度)>

本市は、猪名川、武庫川両河川領域を除き、市内全域が市街化区域となっている。大阪、神戸といった大都市に近い立地条件を活かして、長距離輸送に向かない軟弱野菜を集約的に栽培する典型的な近郊農業が行われているが、急速な宅地開発が行われたため、農地が住宅の間に点在するという状態になっている。約86^{ha}（生産緑地74^{ha}、宅地化農地12^{ha}）の農地は市域面積の約2%を占めている。全農地面積のうち水稲は約43%の37^{ha}、転作作物は主に、ネギ、ハウレンソウ、キクナ等の市場出荷用軟弱野菜及び自家消費用野菜となっている。土地利用型作物である麦、飼料用作物等は全く栽培されていない。

<課題>

市内農家のうち兼業農家が大部分を占めていること、また農業従事者の高齢化に伴う担い手不足が一層進み、休耕地も中には見られるなど、きわめて厳しい状況にあり、生産面積の維持が大きな課題となっている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

需要が増加している野菜の安定生産や、消費者のニーズに対応した多様な品目の作付、高品質で安定した生産による産地ブランドの向上などの取組を通じて、特色ある産地づくりや、収益力の向上による経営の安定化を進める。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域は、小規模の農地が住宅の間に点在するという状態のため、概ね団地化された畑地化は難しい。しかし、相続発生に伴う転用の相談時などに水田であっても畑地化し市民農園の経営を提案するなど地道な取り組みを行う。

また、水稲作に活用される見込みがない農地については、作付体系を水田台帳等を活用し定期的に点検し、畑地化支援を含め検討していく。

4 作物ごとの取組方針等

市内の約86^{ha}の農地について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持、拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

近年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ需要に応じた品種の普及及び栽培技術向上のための講習会等の開催により品質の向上を図りながら消費者ニーズに対応する。

(2) 備蓄米

当該地域は、備蓄米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案

しながら作付けについて検討していく。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

当該地域は、飼料用米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

イ 米粉用米

当該地域は、米粉用米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

ウ 新市場開拓用米

当該地域は、新市場開拓用米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

エ WCS用稲

当該地域は、WCS用稲は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

オ 加工用米

当該地域は、加工用米は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

(4) 麦、大豆、飼料作物

当該地域は、麦、大豆、飼料作物は生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

(5) そば、なたね

当該地域は、そば、なたねは生産されていない。今後、近隣都市の状況や周辺環境などを勘案しながら作付けについて検討していく。

(6) 高収益作物

ネギ、ホウレンソウ、キクナ等の市場出荷用軟弱野菜を少量多品目の振興作物として維持に努める。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	令和5年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	37	37	36
備蓄米	0	0	0
飼料用米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	0	0	0
飼料作物	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
高収益作物	40.6	42	42
・野菜	38.5	40	40
・花き・花木	0.4	2	2
・果樹	1.7		
・その他の高収益作物			
その他			
・			
畑地化			

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	尼蒔を除く地域振興作物	少量多品目野菜生産支援	生産面積の拡大	(令和2年度) 19.87ha	(令和5年度) 23ha
2	尼蒔	伝統野菜の生産拡大支援	生産面積の拡大	(令和2年度) 10.1a	(令和5年度) 25a
3	地域振興作物	施設地域振興作物 (認定新規就農者支援)	認定新規就農者の作付面積拡大	(令和2年度) 11.6a	(令和5年度) 45a
4	地域振興作物	施設地域振興作物 (認定農業者支援)	認定農業者の作付面積拡大	(令和2年度) 23.7a	(令和5年度) 55a
5	地域振興作物	露地地域振興作物 (認定新規就農者支援)	認定新規就農者の作付面積拡大	(令和2年度) 17.2a	(令和5年度) 40a
6	地域振興作物	露地地域振興作物 (認定農業者支援)	認定農業者の作付面積拡大	(令和2年度) 86.1a	(令和5年度) 120a
7	高収益作物	高収益作物等拡大加算	高収益作物等作付面積拡大	(令和2年度) 21.3ha	(令和5年度) 23.3ha

- ※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
- ※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり